◇委員長の紹介◇

川西　安喜

2022 年 4 月に企業会計基準委員会（ASBJ）の委員長を拝命し、2022 年 7 月のサステナビリティ基準委員会（SSBJ）の設立に伴い SSBJ の委員長を兼務という形で拝命いたしましたが、2025 年 4 月以降も両委員会の委員長の職務を継続することとなりました。

細かな点で後になってこうすれば良かったと反省する点はいろいろとありますが、それぞれの委員会を運営するにあたっての方向性については、これまでの進め方で特に問題はないと考えており、大きな変更を行うことは考えておりません。

わが国の会計基準の開発について、まず、国際的に整合性のあるものとするための取組みを継続していきたいと思います。金融商品と保険契約に関するプロジェクトについては、相互に関連があるため、両プロジェクトの進め方に関するロードマップを描き、その内容について市場関係者のコンセンサスを得た上で進めていく必要があると考えております。また、新しい取引などについて、市場関係者のニーズを踏まえ、経済環境の変化に合わせて適時に基準開発を行っていきたいと思います。さらに、会計基準の利便性を高めるための取組みも継続していきたいと思います。

国際的な会計基準の開発への貢献について、近年、反対意見を述べる状況が多くなっていると感じておりますが、引き続き、わが国の考えを粘り強く主張していきたいと思います。主張を聞いてもらう前提として、盤石な人間関係の構築が不可欠であり、これまでに築いてきたネットワークの維持・拡大を図っていきたいと考えております。

わが国のサステナビリティ開示基準については、2025 年 3 月に確定基準（SSBJ 基準）を公表し、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）とともに、ISSB 基準と SSBJ 基準との間の整合性について確認したところです。今後は、ISSB の基準開発への貢献を継続するとともに、SSBJ 基準と ISSB 基準との間の整合性を維持するため、ISSB 基準に変更があった場合にこれに対応して SSBJ 基準を変更するかどうかについて適時に議論していきたいと考えております。また、SSBJ 基準の導入支援を行っていきたいと考えております。

両委員会は市場関係者の利害を調整するために存在しており、市場関係者の皆様の参加なしには基準開発はできません。引き続き、両委員会に対するご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。